



607年(推古15年)、聖徳太子こと厩戸皇子(用明天皇の皇子)が父・用明天皇のために創建した。聖徳太子は推古9年(601年)、飛鳥からこの地に移ることを決意し、「斑鳩宮」の建造に着手、推古13年(605年)に斑鳩宮に移り住んだ。法隆寺の東院の場所が斑鳩宮の跡地である。

法隆寺の境内は全体が築地堀に囲まれ、西院と東院に大きく分かれる。寺の中心である西院伽藍には国宝の建物群、五重塔と金堂が並び、中門と大講堂をつないで回廊が囲む。東に向かって東大門を抜けると夢殿のある東院伽藍が広がる。国宝・重要文化財の建築物は55棟に及ぶ。また、仏教美術品の数は国宝だけで38件・150点、重要文化財を含めると3104点にもなる。

法隆寺西院伽藍は現存する世界最古の木造建築群であるが、聖徳太子(622年没)在世時の建物ではなく、創建時の伽藍が天智天皇9年(670年)に焼失した後に再建されたものであるということが発掘調査、年輪測定によって明らかになった。

国宝釈迦三尊は金堂の本尊で、光背の裏面に銘文が刻されている。この光背銘によれば、釈迦三尊像の作者は、司馬鞍首止利仏師(鞍作止利)である。止利は鞍作多須奈の子で、司馬達等孫。達等は『日本書紀』によれば継体天皇の時代に渡日した漢人で、止利は渡来人の子孫ということになる。一族は「鞍部」(鞍作)を称し、鞍などの馬具製作の技術者集団だったようで、その金工技術を仏像製作に応用したものと考えられている。



0001\_中門



0002\_中門



0003\_中門



0004\_中門



0005\_中門



0006\_中門



0007\_中門



0008\_中門



0009\_中門



0010\_中門



0011\_中門



0012\_中門



0013\_中門前周辺、夢殿方面



0014\_中門前周辺、夢殿方面



0015\_中門前周辺、夢殿方面



0016\_中門前周辺、夢殿方面



0017\_中門前周辺、夢殿方面



0018\_中門前周辺、夢殿方面



0019\_中門前周辺、夢殿方面



0020\_中門前周辺、夢殿方面



0021\_中門前周辺、夢殿方面



0022\_中門前周辺、夢殿方面



0023\_中門前周辺、夢殿方面



0024\_中門前周辺、夢殿方面



0025\_中門前周辺、夢殿方面



0026\_五重塔



0027\_五重塔



0028\_五重塔



0029\_五重塔



0030\_五重塔



0031\_五重塔



0032\_五重塔



0033\_五重塔



0034\_五重塔



0035\_五重塔



0036\_五重塔



0037\_五重塔



0038\_五重塔



0039\_五重塔



0040\_五重塔



0041\_五重塔



0042\_五重塔



0043\_五重塔



0044\_五重塔



0045\_五重塔



0046\_五重塔



0047\_五重塔



0048\_五重塔



0049\_五重塔



0050\_五重塔



0051\_五重塔



0052\_五重塔



0053\_五重塔



0054\_五重塔



0055\_五重塔



0056\_五重塔



0057\_五重塔



0058\_五重塔



0059\_五重塔



0060\_五重塔



0061\_五重塔



0062\_五重塔



0063\_五重塔



0064\_五重塔



0065\_五重塔



0066\_五重塔



0067\_五重塔



0068\_五重塔



0069\_五重塔



0070\_五重塔



0071\_五重塔



0072\_五重塔



0073\_五重塔



0074\_五重塔



0075\_五重塔



0076\_五重塔



0077\_五重塔



0078\_五重塔



0079\_五重塔



0080\_五重塔



0081\_五重塔



0082\_五重塔



0083\_五重塔



0084\_五重塔



0085\_五重塔



0086\_五重塔



0087\_五重塔



0088\_五重塔



0089\_五重塔



0090\_五重塔



0091\_五重塔



0092\_五重塔



0093\_五重塔



0094\_五重塔



0095\_五重塔



0096\_五重塔



0097\_五重塔



0098\_五重塔



0099\_五重塔



0100\_五重塔



0101\_五重塔



0102\_五重塔



0103\_五重塔



0104\_五重塔



0105\_五重塔



0106\_五重塔



0107\_入り口周辺



0108\_入り口周辺



0109\_入り口周辺



0110\_入り口周辺



0111\_入り口周辺



0112\_入り口周辺



0113\_入り口周辺



0114\_入り口周辺



0115\_入り口周辺



0116\_入り口周辺



0117\_入り口周辺



0118\_入り口周辺



0119\_入り口周辺



0120\_入り口周辺



0121\_入り口周辺



0122\_入り口周辺



0123\_入り口周辺



0124\_入り口周辺



0125\_南大門



0126\_南大門



0127\_南大門



0128\_南大門



0129\_南大門



0130\_南大門



0131\_南大門



0132\_南大門



0133\_南大門



0134\_南大門



0135\_南大門



0136\_南大門



0137\_南大門を入った参道



0138\_南大門を入った参道



0139\_南大門を入った参道



0140\_南大門を入った参道



0141\_南大門を入った参道



0142\_南大門を入った参道



0143\_南大門を入った参道



0144\_南大門を入った参道



0145\_南大門を入った参道



0146\_南大門を入った参道



0147\_南大門を入った参道



0148\_南大門を入った参道



0149\_南大門周辺



0150\_南大門周辺



0151\_南大門周辺



0152\_南大門周辺



0153\_南大門周辺



0154\_南大門周辺



0155\_南大門周辺



0156\_南大門周辺



0157\_南大門周辺



0158\_南大門周辺



0159\_南大門周辺



0160\_南大門周辺



0161\_回廊



0162\_回廊



0163\_回廊



0164\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0165\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0166\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0167\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0168\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0169\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0170\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0171\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0172\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0173\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0174\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0175\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0176\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0177\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0178\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0179\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0180\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0181\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0182\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0183\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0184\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0185\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0186\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0187\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0188\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0189\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0190\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0191\_坂田寺(鞍作の氏寺)



0192\_2019.1.13 付近の馬拉石



0193\_2019.1.13 付近の馬拉石



0194\_2019.1.13 付近の馬拉石



0195\_2019.1.13 付近の馬拉石



0196\_2019.1.13 付近の馬拉石



0197\_2019.1.13 付近の馬拉石



0198\_2019.1.13 付近の馬拉石



0199\_2019.1.13 付近の馬拉石



0200\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0201\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0202\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0203\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0204\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0205\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0206\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0207\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0208\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0209\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0210\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0211\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0212\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0213\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0214\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0215\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0216\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0217\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0218\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0219\_2019.1.13 周辺地図、説明版



0220\_境内



0221\_境内



0222\_境内



0223\_境内



0224\_境内



0225\_境内



0226\_境内



0227\_境内



0228\_境内



0229\_境内



0230\_境内



0231\_境内



0232\_境内



0233\_境内



0234\_境内



0235\_境内



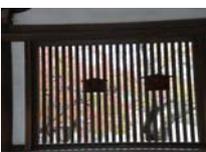
0236\_境内



0237\_境内



0238\_境内



0239\_境内



0240\_境内



0241\_境内



0242\_境内



0243\_境内



0244\_境内



0245\_境内



0246\_境内



0247\_境内



0248\_境内



0249\_境内



0250\_境内



0251\_境内



0252\_境内



0253\_境内



0254\_境内



0255\_境内



0256\_境内



0257\_境内



0258\_境内



0259\_境内



0260\_境内



0261\_境内



0262\_境内



0263\_境内



0264\_境内



0265\_境内



0266\_境内



0267\_境内図



0268\_境内図



0269\_境内図



0270\_境内図



0271\_境内図



0272\_境内図



0273\_境内図



0274\_境内図



0275\_夢殿



0276\_夢殿



0277\_夢殿



0278\_夢殿



0279\_夢殿



0280\_夢殿



0281\_夢殿



0282\_夢殿



0283\_夢殿



0284\_夢殿



0285\_夢殿



0286\_夢殿



0287\_夢殿



0288\_夢殿



0289\_夢殿



0290\_夢殿



0291\_夢殿



0292\_夢殿



0293\_夢殿



0294\_夢殿



0295\_夢殿



0296\_夢殿



0297\_夢殿



0298\_夢殿



0299\_夢殿



0300\_夢殿



0301\_夢殿



0302\_夢殿



0303\_夢殿



0304\_夢殿



0305\_夢殿



0306\_夢殿



0307\_夢殿



0308\_夢殿



0309\_夢殿



0310\_夢殿



0311\_夢殿



0312\_夢殿



0313\_夢殿



0314\_夢殿



0315\_夢殿



0316\_夢殿



0317\_夢殿



0318\_夢殿



0319\_夢殿



0320\_夢殿



0321\_夢殿



0322\_夢殿



0323\_夢殿



0324\_夢殿



0325\_夢殿



0326\_夢殿



0327\_夢殿



0328\_夢殿



0329\_夢殿



0330\_夢殿 模型



0331\_夢殿前・参道



0332\_夢殿前・参道



0333\_夢殿前・参道



0334\_夢殿前・参道



0335\_夢殿前・参道



0336\_夢殿前・参道



0337\_夢殿前・参道



0338\_夢殿前・参道



0339\_夢殿前・参道



0340\_夢殿前・参道



0341\_夢殿前・参道



0342\_夢殿前・参道



0343\_夢殿前・参道



0344\_夢殿前・参道



0345\_夢殿前・参道



0346\_夢殿前・参道



0347\_夢殿前・参道



0348\_大宝蔵院



0349\_大宝蔵院



0350\_大宝蔵院



0351\_大宝蔵院



0352\_大宝蔵院



0353\_大宝蔵院



0354\_大宝蔵院



0355\_大宝蔵院



0356\_大宝蔵院



0357\_大宝蔵院



0358\_大宝蔵院



0359\_大宝蔵院



0360\_大宝蔵院



0361\_大宝蔵院



0362\_大講堂



0363\_大講堂



0364\_大講堂



0365\_妻室



0366\_妻室



0367\_手水舎



0368\_手水舎



0369\_斑鳩・風致地区図



0370\_斑鳩・風致地区図



0371\_東大門



0372\_東大門



0373\_東大門



0374\_東大門



0375\_東大門



0376\_東大門



0377\_東大門



0378\_東大門



0379\_東大門



0380\_東大門



0381\_東大門



0382\_東大門



0383\_東大門



0384\_東大門



0385\_東大門



0386\_東大門



0387\_東大門



0388\_東大門



0389\_東大門



0390\_東大門



0391\_東大門



0392\_東大門



0393\_東院鐘樓



0394\_東院鐘樓



0395\_東院鐘樓



0396\_看板・石碑



0397\_看板・石碑



0398\_看板・石碑



0399\_看板・石碑



0400\_看板・石碑



0401\_看板・石碑



0402\_看板・石碑



0403\_看板・石碑



0404\_看板・石碑



0405\_看板・石碑



0406\_看板・石碑



0407\_看板・石碑



0408\_看板・石碑



0409\_看板・石碑



0410\_看板・石碑



0411\_看板・石碑



0412\_看板・石碑



0413\_看板・石碑



0414\_看板・石碑



0415\_看板・石碑



0416\_看板・石碑



0417\_礼堂



0418\_礼堂



0419\_礼堂



0420\_礼堂



0421\_礼堂



0422\_礼堂



0423\_礼堂



0424\_礼堂



0425\_礼堂



0426\_礼堂



0427\_築地塀



0428\_築地塀



0429\_築地塀



0430\_築地塀



0431\_築地塀



0432\_築地塀



0433\_築地塀



0434\_築地塀



0435\_築地塀



0436\_築地塀



0437\_築地塀



0438\_築地塀



0439\_築地塀



0440\_築地塀



0441\_築地塀



0442\_築地塀



0443\_網封蔵



0444\_網封蔵



0445\_網封蔵



0446\_聖霊院



0447\_聖霊院



0448\_聖霊院



0449\_聖霊院



0450\_聖霊院



0451\_聖霊院



0452\_聖霊院



0453\_聖霊院



0454\_聖霊院



0455\_舍利殿・絵殿



0456\_舍利殿・絵殿



0457\_舍利殿・絵殿



0458\_舍利殿・絵殿



0459\_舍利殿・絵殿



0460\_舍利殿・絵殿



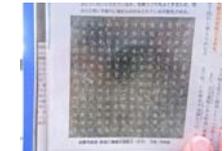
0461\_資料



0462\_資料



0463\_資料



0464\_資料



0465\_金堂



0466\_金堂



0467\_金堂



0468\_金堂



0469\_金堂



0470\_金堂



0471\_金堂



0472\_金堂



0473\_鐘楼



0474\_鐘楼



0475\_鐘楼



0476\_食堂・細殿



0477\_食堂・細殿



0478\_食堂・細殿